

ZaurusでPerlスクリプトが実行できることは大変有意義なことである。

もっと有意義にするために、CPANからJcodeを入手しパッケージ化（IPKファイルに変換）した。

---

ここに掲載するものは、塚本さんにパッケージ化して頂いている[Zaurus用Perl 5.6.1](#)に追加でインストールするPerlライブラリのJcodeである。

ソースは[ここ](#)からダウンロードし、dev-img-1.3でセルフコンパイルした。

gcc 2.95はコード最適化にバグを含んでいるという話を聞いているので、Makefileから最適化オプションを外してビルドした。

また、Jcode/Nihongo.podの "encoding euc-jp" をコメントアウトする必要があった。

download : [lib-perl-jcode\\_2.06-1\\_arm.ipk](#)

手始めの使い方は以下の通りである。

```
use Jcode;
$target = "こんにちはザウルス";
$icode = "sjis";
$ocode = "utf8";
&Jcode::convert(\ $target, $ocode, $icode);
print "$icode to $ocode:$target\n";
```

上記スクリプトは漢字コードをShift JISでファイルに保存し、出力漢字コードがUTF8の端末で実行したときのみ正常に動作する。

```
&Jcode::convert(\ $target, $ocode);
```

とすれば、入力の漢字コードは自動的に判定される。

ただし、変換対象の文字列が短過ぎると誤判定することがあるので、予め分かっている場合は指定した方が確実であり、判定している時間を必要としない分、短い変換時間で済む。

Jcodeの詳細は以下をご覧ください。

英語 : <http://search.cpan.org/~dankogai/Jcode-2.06/Jcode.pm>

日本語 : <http://perldoc.jp/docs/modules/Jcode-0.82/Jcode.pod>

---